

# 千葉県少年野球大会特別規則

## 大会競技規則

1. 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟が発行する「最新競技者必携」及び「大会特別規則」を適用する。

## 大会特別規則

### (出場資格及びチーム構成)

1. 大会出場資格は、特定非営利活動法人千葉県少年野球連盟（以下「法人」という）の構成会員（以下「チーム」という）であり、最終日の試合まで参加できるチームであること。
2. チーム構成は、成人者による代表者、監督、コーチ（2名）、スコアラー、介護員と選手（小学生）11名以上20名以内とする。ベンチ入り指導者は、認定指導者有資格者1名を含むこととする。（ただし、新規加盟チームに於いては1年間の猶予をあたえることとする）
3. 出場チームは、この法人の定款、大会規程、大会特別規則を遵守する事。地区、地域予選も含め選手を他チームから補強及びその他の不正を行なうことを禁止する。

※特例… 今年度（平成25年度）より、連合チームでの参加を認めます。

少子化に伴い各地域とも部員の減少が激しく単独チームでの選手数確保が困難なチームの救済措置として、1・2年生を除き11名未満のチーム同士に限り2チームでの連合を認める。但し、チーム名はどちらかのチーム名で参加する。服装は別々でも認める。

4. 前項に違反した場合は、没収試合とし相手チームに勝利を与えるものとする。
5. 前3項に違反したチームに対しては、後日、協議し処分を通知する。
6. 前3項に掲げるものの外、指導者及び選手の不正もチームの責任とする。

### (服装・用具)

1. 同一チームの監督・コーチ・選手は、同色・同形のユニフォーム、帽子、ストッキング、アンダーシャツを着用すること。ただし、代表者・スコアラー・介護員の服装は、帽子に限り同色・同形のものを着帽し、靴は運動靴を着用する。
2. 背番号は、監督30番、コーチ28番・29番、主将10番、選手は0番～27番までとする。
3. スパイクシューズは、監督・コーチ・選手全員、同色・同形とする。（金属は禁止する）
4. ヘルメットは、「JSBB」マーク入りで両側にイヤラップの付いたものを、最低8個用意し、打者・次打者・走者・ベースコーチ・ボールボーイは必ず着帽すること。
5. 捕手（控え捕手も含む）は、マスク（スロートガード付）・レガース・プロテクター・ヘルメット及び、ファール・カップ（女子選手は除く）を着用する。
6. 使用球は、全日本軟式野球連盟公認球「C号球」とし、金属バットは「JSBB」公認マーク入りのものに限る。 ※以下削除
7. 投手の守備を除く、選手（打者、守備）の手袋の使用は認めるがリストバンドの使用は禁止する。

### (抽選会・開会式)

1. 大会の開会式での選手宣誓は、試合組合せ抽選結果に基づき、出場する全チームの中から理事長が（不在の場合は、副理事長他）が、抽選番号クジを引いたチームの選手とする。

2. 大会開会式での各チームの集合時間は、開始時刻30分前までに受付終了し、選手は指定された入場行進場所に整列していること。
3. 各チームの入場行進順は、先頭は前年度優勝チーム続いて準優勝チーム及び本抽選番号の若番から順次行進する。
4. 大会に出場する選手は、開会式に参加するものとし、特別な理由がない限り、これに違反した場合は、試合に出場することができないものとする。

#### (試合の集合時間・準備)

1. 第1試合のチームは、試合開始予定時刻1時間前までに集合し、球場責任者による受付を終了すること。第2試合、第3試合のチームも同様とする。
2. 試合中止の場合は、大会本部から連絡する。雨天による判断が困難な場合は、時間まで球場に集合し、大会本部の決定に従うこと。
3. メンバー表の提出は、第1試合は試合開始時刻30分前、第2試合以降は40分前までに監督、主将が4部持参し、グラウンドルールや注意事項等を確認すること。  
ただし、特別な理由がない限り、上記の試合開始時刻30分前又は40分前までにメンバー表提出がなかった場合は、監督のベンチ入りは認めないものとする。
4. ベンチは、抽選番号の若番が1塁側とする。攻撃の先攻・後攻は、メンバー表提出時、トスにより決定する。
5. 試合前のシートノックは、後攻チームから開始し、時間は5分間とする。ただし、前試合の遅れ又は天候不安等が生じた場合は、短縮又は中止して試合を開始する。
6. シートノック時のユニホーム着用指導者は、内・外野のシートノック及び選手からの返球されたボールの捕球及びブルペンでの投球練習の捕手を行なうことは認める。  
ただし、試合開始後は、前記等の選手の練習補助等は認めない。
7. シートノックを行なう監督又はコーチにボール渡しをする選手は、ヘルメットを着帽のうえ、トス渡しとする。主審へのボール渡しをする選手は、ヘルメットを着帽する。
8. ベンチ入りの代表者、監督、コーチ等の指導者が試合開始からゲームセットまでの間ベンチを離れた場合は、退場したものとみなし再びベンチに戻ることはできない。  
ただし、特別な理由(トイレ等)の場合、審判員の許可を得れば、この限りでない。

#### (試合時間等)

1. この大会の試合は、トーナメント戦とする。
2. 試合は、1試合7回均等回で勝敗を争うこととするが、タイムゲームを最優先適用する。  
1試合1時間30分を超えたときは、新しいイニングに入らずその時点の得点をもって勝敗を決する。決勝戦も同様とする。時間短縮のため攻守交代は1分間ルールを適用する。
3. 得点差によるコールドゲームは、5回均等回終了後7点差のとき適用する。
4. 決勝戦は、得点差によるコールドゲームは適用しない。
5. 日没・降雨によるコールドゲームの適用は、4回終了後適用する。また、4回終了前については、特別継続試合(サスペンデットゲーム)とし、後日の第1試合前に行なう。  
日没・降雨の判断は、当該球場責任者、当該球場責任審判員が両チームの監督を招集し協議して決定する。
6. 決勝戦は、日没・降雨により4回終了前に試合を中止した場合は、後日再試合とする。
7. 1試合のタイム数の制限：7回で攻撃側3回、守備側3回、特別延長ルールは1回につき各1回とする。守備時3人以上集まればタイム1回とみなす。

## (試合)

1. 同一投手の投球回数は、1試合5イニング(特別延長戦も含む15アウト)とする。2試合ある場合は、2試合目も5イニングとする。(1日の合計10イニング)  
※高学年大会に於いては、投手は5・6年生とする。特例として4年生も認めるが出来る限り5・6年生で(ただし、4年生の場合は1試合3イニング9アウトとする)。
2. 投手の変化球は禁止し、変化球に対してはボールを宣告する。再度繰り返した場合は、その投手は交代させる。(※その試合の再登板も認めない)
3. 打者走者および走者は、走塁の時ベースコーチ又は選手に触れてはならない。走塁補助とみなしアウトを宣告する。
4. 臨時代走(コーティシーランナー)を認める。代走は打順前位の者、但し投手捕手を除く。
5. 審判員に対するアピールは、監督、当該選手とする。
6. 選手交代を行なうときは、監督が球審に申告する。
7. メガホンの使用は、監督に限り認める。
8. 監督が投手と協議するときは、マウンドまで駆け足を励行すること。また、選手への指示についても同様とする。(簡潔指示の励行)  
ただし、同一イニングに同様の行為を2回行った場合は、投手を交代させる。
9. アウトを取る意思のない投手の塁への送球は、遅延行為とみなす。ボークを宣告する。
10. 悪質な抗議・野次等を発するチームには、当事者又はチーム責任者、監督の退場を大会責任者、球場責任者、当該審判が命じることができる。
11. 仮設球場等の場合は、球場責任者が球審と両チームの責任者と協議して、特別ルールを決定する。
12. 各チームの応援団並びにベンチは、相手チームに気分を害さないよう少年野球にふさわしい応援で臨むこと。

## (特別延長戦)

1. 7回終了後又は1時間30分を超え、後攻の攻撃終了時で同点の場合は、特別規則を適用し、直ちに「特別延長戦」を実施する。
2. 打者は、前回の継続打者、走者は前回の最終打者が1塁走者として、2塁、3塁の走者は、順次打者が走者として1死満塁で1イニングを行い、得点の多いチームを勝者とする。
3. 勝者が決定しない場合は、さらに継続打順で1イニングを行い、なおも勝者が決定しない場合は抽選とする。(※抽選方法は、球場責任者、責任審判委員の指示に従う)
4. 特別延長戦では選手の交代は認める。ただし、特別延長戦に入る前に、既に交代した選手の交代は認めない。

## (附記)

1. 試合開始時刻は、あくまでも目安である。コールドゲームまたは天候等によって、試合が早まる場合がある。この場合は、次の試合開始時刻が早まるので、球場責任者の指示に従うこと。また、日没・天候の不安等が予想される場合も同様とする。
2. ベンチ入り指導者は(代表・スコアラー・介護員含む)試合中の喫煙を禁止する(退場)また、試合中喫煙を目的としてベンチ外に出た場合は、再びベンチには戻れない。
3. 各球場において、ベンチ内への組立て椅子・机等の持ち込み・使用は禁止する。

## (審判規定)

1. この規定に定められた以外の必要事項は、審判員が大会責任者(ここでは球場責任者)と協議して決定する。